

リフレケア通信 5月号

2016年5月(第84号)雪印ビーンスターク株式会社 ライフサイエンス事業部 発行

5月の花と花言葉:「カーネーション」花言葉:幸せをよぶ、「スズラン」花言葉:幸福が戻ってくる、幸福、純潔

5月の誕生色:初恋薔(はつこいあざみ)あざみの深い紫(出典:十日町織物工業共同組合)#662e51、#800080←ネット検索で色をチェック!

シリーズ第9弾〜2
口腔ケア最前線

清水義貴先生は愛媛県八幡浜市で摂食・嚥下障害看護認定看護師として「食べる」口腔ケアを実践されています。今回は前回の内容に対する「対策」をお話頂きました。

「食べる」と真剣に向き合うために②

市立八幡浜総合病院

摂食・嚥下障害看護認定看護師

清水 義貴 先生

今後、高齢者の数がさらに増え、今までは病院で対応していたような重症度の高い摂食嚥下障害を患った方が早い段階で施設、そして在宅へと帰っていくケースが増えていくのではないのでしょうか。そのような場合に備え、施設や在宅においても摂食嚥下障害を患っている方に対して、適切に対応していく必要性が今以上に高くなっていくでしょう。専門職種がない施設などでも、ちょっとしたことに気をつけるだけで誤嚥などを起こしにくくすることはできます。

まず1つは、食べるための環境を整えることです。摂食嚥下障害を患っている方の場合には、ベッドから起こしてすぐ食事をするという行為は、すぐく食べにくさを感じてしまいます。スポーツをする場合などは必ず準備運動やストレッチをするように、食べる前にも嚥下体操などや覚醒状態を良くするための口腔ケアを実施することで、食事時の誤嚥を防ぐ効果が期待できます。

もう1つは食事介助をする人の注意点です。施設などの場合では、食事介助を必要とする方が多く、どうしても介助者のペースで食事介助をしてしまいがちです。そのように介助者のペースで食事介助をしていると、嚥下と呼吸のタイミングにズレが生じやすく誤嚥の原因になる場合があります。また忙しい職場においては介助者が立ったまま食事介助を行っていることも多いのではないのでしょうか。しかし、食事介助が必要な方の多くは車椅子やベッド上で食べることが多いです。そのような場合、介助される方は介助者の方を見てしまうので目線が上がってしまい、顔全体がやや上を向いている状態になります。このような姿勢のことを頸部伸展位といい、とても嚥下しにくい姿勢の1つです。できるだけ介助者は椅子に座するなどして、目線を合わせて、介助される方のペースで食事介助することが非常に大切な食事介助方法になってきます。

一人でも多くの方が自分に合った食形態の食事を食べていただきたく、平成25年度より当院での入院患者以外の方に対して定期的な嚥下のスクリーニング評価を実施し、必要時には嚥下造影検査などの専門的な嚥下評価を行う、認定看護師主体の嚥下外来を開設しました。嚥下外来に来られる患者の中には、胃瘻でのみ栄養摂取をしていた患者がいました。その患者はどうしても口から食べたいという強い思いがあり当外来を受診され、外来や自宅でのリハビリを実施していく中で、徐々に口から食べられるようになり、最終的には3食経口摂取することができました。そこに至るまでには私たちだけでなく、サポートしてくれた家族、そして口から食べることを諦めなかった本人の強い意志が結果として最高の形になったのではないのでしょうか。

また、「食べる」ためには、口腔ケア、歯や義歯の調整、食べるための口作り、食形態の調整、姿勢調整や食具の選択、介助者のスキル、自力摂取への支援など他職種連携なくして成り立ちません。そのため平成26年度には、地域としての知識や技術の底上げを行い、病院や施設や在宅、また職種などの垣根も越えて「食べる」ということについて真剣に考え学ぶ目的でつばめ会というものを立ち上げました。現在までに7回の勉強会を実施し、毎回約60名程度の方が参加されています。

つばめ会には、医師や歯科医師、看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、ヘルパー、社会福祉士、管理栄養士、調理員など非常に多くの職種の方が参加されており、それぞれの目線で「食べる」ということについて真剣に考えています。まだまだ始まったばかりの会ですがこれからも継続していき、横の繋がりなどをどんどん広げていき、地域全体で摂食嚥下障害を患っている方に対してアプローチしていけるよう頑張りたいと思います。

最後に、一人でも多くの方がその人にあった食事を最後まで食べることができるようこれからも日々精進していきたいと思っています。

清水先生、ありがとうございました。次回の口腔ケア最前線をお楽しみに!!

口腔ケアセミナーin宮崎 セミナーレポート

報告:南九州営業所 立和名早苗

4月10日(日) 宮崎市民文化ホールにて、今年度初の「口腔ケアセミナーin宮崎」が開催されました。宮崎・鹿児島・大分から病院・歯科・施設等、180名の方がご参加いただきました。

第一部ではACTデンタルクリニック 嚥下トレーナー 歯科衛生士 松尾嘉津子先生に「現場あるある!~ケアの悩みを解決しよう~」、第二部では神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 准教授 岩淵博史先生に「有病者における口腔管理の現状と課題~チームアプローチの必要性和口腔乾燥と口腔カンジダ症への対応~」をご講演いただきました。

日々の口腔ケアのスキルアップに繋がる内容を判りやすくお話くださり、参加された方からは、「カンジダの判別に役立った」「とても判り易い内容で毎日のケアに直結する話だった」「様々な情報も含むセミナーで勉強になった」「ユマニチュードについて学ぶきっかけが出来た」「得るものが多く今後の口腔管理に生かしていきたい」などこの他にも多くの感想をいただきました。ご講演くださいました岩淵先生、松尾先生ありがとうございました。

【お知らせ】5月15日に予定していた熊本セミナーですが、地震の影響により中止となりました。楽しみにして下さっていた皆様大変申し訳ございません。

九州地区は今後、長崎と福岡での開催を予定しています。リーフができれば、ご案内させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

6月の学会展示予定

第17回日本認知症
ケア学会大会
4(土)-5(日)
神戸国際展示場
(神戸市)展示

リフレケア
セミナーin札幌
12(日)
札幌市教育文化会館
小ホール(札幌市)

第21回日本緩和
医療学会学術大会
17(金)-18(土)
国立京都国際会館、
他(京都市)
展示

日本老年歯科医学会
第27回学術大会
18(土)-19(日)
アスティとくしま
(徳島市)展示

第66回 日本病院学会
23(木)-24(金)
マリオス、他
(盛岡市)展示

リフレケア
セミナーin京都
25(土)
京都商工会議所
講堂(京都市)